

IoT サービス「Sense Connect」を活用し、地下や山間部などの現場環境を可視化する取り組みで田辺工業と連携

～一酸化炭素濃度や機材の表面温度など現場環境をデータとして可視化し、DX化を推進～

SB C&S 株式会社（以下「SB C&S」）は、田辺工業株式会社（本社：新潟県上越市、代表取締役社長執行役員：四月朔日 義雄、以下「田辺工業」）と連携し、田辺工業が ICT 環境の構築を進める地下や山間部、工場内などの特殊な現場環境において、さまざまなセンサーからデータを収集し現場の状況を可視化できる IoT サービス「Sense Connect（センスコネクト）」を活用した取り組みを開始します。



田辺工業が IoT を活用して業務改善に取り組んでいる特殊な現場環境へ「Sense Connect」を導入することにより、これまで目視での確認や作業員の常駐で行われていたさまざまな管理・点検業務を自動化し、現場環境をデータとして可視化することが可能になります。各現場が抱える環境や設備、働き方などの課題に合わせて「Sense Connect」のセンシング技術を田辺工業に活用していただくことで、センシング対象や取得データの選定、通信インフラの整備、セキュリティ対策など、設計から施工までを含むトータルサービスの提供を目指します。

SB C&S は今回新たに、作業現場における酸素欠乏症対策として一酸化炭素濃度を測定するポータブルガスモニター（理研計器株式会社、モデル名：GX-3R Pro）や設備保全を目的とした機材の表面温度を取得するための温度センサー（レンジャーシステムズ株式会社、モデル名：iBS03TP）、機材間の距離データを取得するための TOF 距離センサー（レンジャーシステムズ株式会社、モデル名：iBS03R）などを「Sense Connect」に接続しました。これにより、これまで課題となっていた作業時の安全対策や設備点検業務の効率化、現場の作業環境の改善などを、各センサーで収集したデータを活用して解決します。

今後も SB C&S は、田辺工業と連携してさまざまな現場課題を解決していくとともに、センシング技術における知見を生かしてサービスのさらなる実用性を向上させ、現場 DX（デジタルトランスフォーメーション）における付加価値を構築していきます。



ポータブルガスモニター



温度センサー



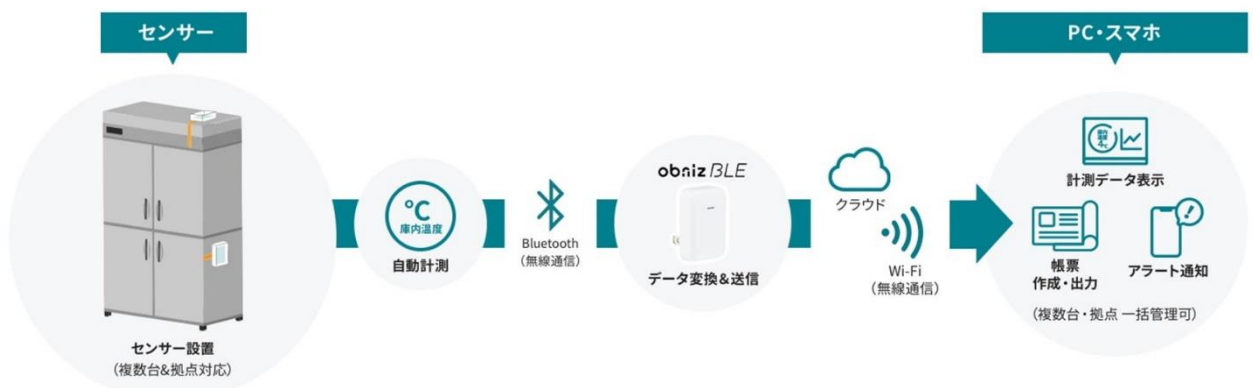
TOF 距離センサー

【IoT サービス「Sense Connect」とは】

「Sense Connect」は、管理したい機器や場所に取り付けるセンサーや「obniz ゲートウェイ」などのデバイスと、データを記録・分析しメールに通知が届くクラウドサービスをパッケージにした IoT ソリューションで、企業の DX 化をワンストップで実現します。汎用性が高い Bluetooth®搭載の各種センサーから、計測値や周囲状況のデータをクラウド上で集約・管理することができ、低コストでの導入と運用が実現できます。収集されたデータは、Wi-Fi または携帯電話の無線通信を利用して、ユーザーのパソコンやタブレットなどで可視化され、拠点や閲覧権限を無制限に追加することが可能です。また、メールの通知機能などでリアルタイムに確認することもできます。

「Sense Connect」は、これまで温度センサーや CO2 センサーなど、さまざまなセンサーと連携し、スポーツジムにおける環境可視化や飲食店における冷蔵庫の温度管理など、あらゆる業界で利用されています。また、「Sense Connect」の「obniz ゲートウェイ」は、各種センサーのファームウェアをクラウドで実装しているため、センサー追加をお客さまの要望に合わせて素早く行うことができます。

<https://iot-solution.jp/product/senseconnect/>



【サービスに関するお問い合わせ】

WEB: <https://iot-solution.jp/contact/>

E-mail: sbcasgrp-senseconnect@g.softbank.co.jp

田辺工業株式会社 デジタルイノベーションセンター長 木場 圭 氏からのエンドースメント

日本における人手不足は、工場やインフラの維持・運用においても大きな社会課題になることが想定されます。これまでのやり方は通用しなくなり、今後はドラスティックに変化する空間に対応することが不可欠だと考えております。そのため IoT 技術への期待は高く、その実現性において開発サポートが非常に手厚い SB C&S さまは、弊社にとって、なくてはならないパートナーであり、これからも共に社会課題へトライしていきたいと考えております。

田辺工業株式会社について

田辺工業株式会社は、1969 年に設立し、プラント建設や機械装置製造を通して、産業社会や社会インフラの発展に寄与してきました。昨今のデジタル化の潮流を踏まえ、デジタルイノベーションセンターを新たに構え、現場を見続けてきた経験を生かし、製造・インフラなどのお客さまと共に現場のデジタル活用を推進しています。また、デジタル推進に伴うセキュリティリスクやデータの管理についても、お客さま合意の下で厳正に管理・実施しています。

<https://www.tanabe-ind.co.jp/>

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
 - Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
 - Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
 - その他、このお知らせに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
-